

カリキュラム

機構施設名： 奈良職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社メビウス

(D) データ活用

データベースソフト活用

データベースを活用したデータ処理(基本編)

コースのねらい

業務の効率化を目指し、表計算ソフトでは対応できない大量のデータを処理するために必要となるデータベース技術を理解し、基本的なデータベースの構築方法を習得する。

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 データベースの概要	(1) データベースの概念 <ul style="list-style-type: none"> ・データベースと表計算のちがいを理解する。 ・データベースの得意なことを理解する。 (2) データベースの構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの種類 ・データベースの得意なこと、苦手なことを知る。 (3) データベースの構築手順 <ul style="list-style-type: none"> ・設計→開発→テスト→評価→保守といった構築サイクルを知る。 	2.0
	2 データベースの設計	(1) テーブルの設計技法 <ul style="list-style-type: none"> ・管理したい内容や業務内容から、データの流れを整理分析します。 ・分析して見えたデータを表にまとめ項目や属性を整理します。 (2) データの分類 <ul style="list-style-type: none"> ・データを構造的に分類し、正規化を理解しながら整理分割する。 ・各項目のデータの形(数値、文字、真偽型)などのデータ型も理解する。 	2.0
	3 抽出処理(クエリ)	(1) 選択クエリ <ul style="list-style-type: none"> ・設計された複数のテーブルを結合できることを理解する。 ・データの内容を編集できる選択クエリ、できない選択クエリの違いを知る。 (2) 抽出条件設定 <ul style="list-style-type: none"> ・データの抽出条件の指定方法や論理算を知る。 ・データ型によって抽出指定が異なることを知る。 (3) レコードの並び替え <ul style="list-style-type: none"> ・データを並び替える指定法を知る。 ・データの並び替えには優先順があることを知る。 	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント

Excelでのデータ処理に限界を感じるとデータベースへの移行の時期です。Excelの方が得意なこと、データベースの方が得意なことを理解します。その上で、データベース化に向けた業務分析、データを整理し、データベースのテーブルとして設計する手法を学びます。また、テーブルを関連付けてデータを加工するクエリを知ることにより、データベース設計の理解を深めます。